

# 日本万引防止システム協会

## 端末機器の基準認証に関するガイドラインセミナー

日本万引防止システム協会（JEAS）技術基準委員会は、9月6日（金）に「電気通信事業法に基づく端末機器の基準認証に関するガイドライン」セミナーを開催した。当日は約30名が参加し、熱心に聞き入っていた。

対策に関する技術基準の改正に関するもの。近年、急速に普及しているIoT機器など、ネットワークに直接接続することのある機器についてのセキュリティ基準に係る技術適合認定や、電波を使用する端末機器に係る技術適合認定等について総務省担当者が解説した。

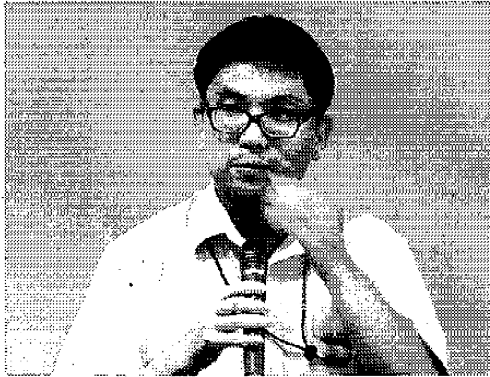
冒頭、JEAS会長の稲本義範氏が「当協会は電子商品監視機器（EAS機器）と防犯カメラ分野の唯一の工業業界で、今後、顔認証とかネットワーク機器など「ネットワークの部分が、色々な複合的に使用されます。トラブルがあった時にどこが悪いかを切り分けなければならぬのは、

卓越した技術が要求されるようになります。最近『渋谷プロジェクト』がスタートしました。渋谷の大手書店が顔認証を用いた犯罪防止システムを共同で立ち上げたものです。激しく競争する書店が、防犯については協力して取り組んでいきます。このように、顔認証として、端末設備の接続の技術基準、端末機器の喜寿認証制度、技術基準適合表示、端末機器の市場調査などについて解説した。さらに、総務省電気通信技術システム課企画係阿部弘明氏が「IoT機器のセキュリティ対策に関する技術基準の改正について」と題し、技術基準の検討の経緯や技術基準の改正の概要を説明した。

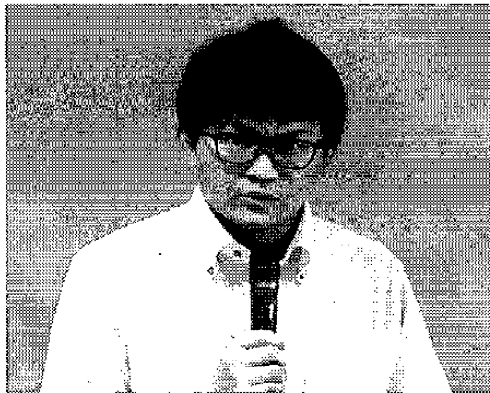
### 稲本会長「情報を共有し施行に備えて欲しい」



JEAS 稲本会長



総務省 松浦信宏氏



総務省 阿部弘明氏